**11月11日　ダブル・スコープ株式会社　代表取締役社長　崔　元根　氏**

**問1　学んだこと、印象に残った言葉・エピソード・メッセージなど**

リチウム電池のセパレーターフィルムを製造する会社を経営するにあたって、様々な起業・経営の考え方を学ぶことが出来た。起業するときに当たる壁を乗り越えるために韓国を離れ、自分のことをしっかりと評価してもらうことのできる日本へと進出したということに驚かされた。ベンチャー企業として成功していくためには自国内だけなどという狭い考え方をせずより広い視野を持って活動していかなければならないのだと思った。また、会社が火災で被害を受けた時、そこで潰れるのではなく逆にそれを利用して1か月近くで復旧して契約する会社を増やしたという経験を聞かせていただいて、逆境に負けない精神を学ぶことが出来た。（理工学部建築学科1年）

今日のお話を聞いて一番興味深かったのは「venture企業が挑戦しにくい理由」の項目でした。今までにこの講義でお話ししてくださった方々は資金面や会社を設立する場所については言及してくださっていたのですが、機器や原料、装置の話までしてくださった方はあまりいなかったように思うのでとても新鮮でとても参考になり製造業ならではのお話だと思いました。（経済学部経済システム学科1年）

社内にも様々な国籍の従業員を抱える、本当の意味での多国籍企業のトップの方のお話を聞くことが出来て、非常に参考になった。すごく興味をひかれたのが、ダブルスコープならではの困難を乗り越えてきた、というお話である。社内にもたくさんの困難を抱え、様々な国で事業を展開している企業だからこそ、社内の構成であったり、社員同士の信条・習慣の違いといった問題が出てくる、というのもとても納得できた。それらを乗り越え、企業をまとめることが出来る元根社長には非常に感心した。また、社員との距離を近くに保ってきたことも、ベンチャー企業として成功できた要因の一つであると思えた。企業管理が非常に上手いことが元根社長の強みなのだと強く感じた。(経営・国際経営1年)

これまでの講義よりも国際的なことを考えさせられる講義でした。カタコトの日本語なのにしっかりと伝わってきて、普段のビジネスで身に着けたものなのだろうと感じた。「わが社は」という言葉が多く、自分の会社の意義のようなものをハッキリと持っていると思った。「成功は成功の母」という言葉が印象的だった。（理工学部建築都市環境系1年）

今まで聞いたことのないような事業内容で、日本語を勉強されている方のお話だったのでw-scopeは人が命という最後の言葉がとても印象的で企業の成功のためには数字はかりが大事なのではなく人材を生かしかたとの大切さを学びました。（国際経営）

　自分の価値を分かってくれる・認めてくれる国に行くこと。たとえただの石としか評価してくれない処があっても、それは一部でありそこで折れたらそこでだめなんだ、ダイヤモンドとして評価してくれる国に行けばいいとおっしゃっていたところに大変自分の視野の狭さを実感させられました。また、リスクはどんなことをしてもどんなに頑張っても存在する。大切なのはそのリスクをどう管理するかだ。ということ、利益０の３年間何を大切にしたか？でご回答されていた一緒に遊ぶ＝＞コミュニケーションをとにかくとるということ、建物は回復できるが人は回復できないといった姿勢があったからこそ成功されたのだと感じ、また、それこそが成功のコツの一つだったのだと思いました。お忙しいところ、私たち学生のためにお時間を割いていただき有り難うございました。（経営・経営１年）

今日はすごく専門的なお話であったが一つ一つがわかりやすく面白く感じた。自身で工場を作ったところから日本にフィルム会社は10社近くあってやりたいところを選んでいったという話も見習うところがたくさんあると思った。会社をスタートアップするときの敷地や予算も明確に話してくれてとても勉強になった。危機管理の重視の度合いには驚いたが見習うべきだと思った。(理工学部建築学科一年）

　元根社長のお話から、最も自分たちが参考にすべきことは、リーダーとして仲間の管理をうまくやってきたことが成功につながってきた、ということだと思う。モチベーションの管理、社員同士の連携など、非常に上手くこなしていると言うことがお話から感じ取れた。広い意味でのリスク管理、リスクが及ぶ前に封じ込めていくために、様々な選択肢を持っておくということが今回の講義から得た最大の教訓だと思う。(経営学部国際経営1年)

**問2　今後の学びやアクションに繋げたいこと**

失敗は成功のお母さんというよく聞く言葉を否定して、成功が成功のお母さんだと教えてくれた崔さんの言葉を聞いて、これがそこらへんにある一般の会社とは違ってダブル・スコープさんが成功した理由が納得できました。今まで日本人の講師さん達に話を聞いていましたが、今日海外出身の崔さんの講演を聞いて、今まで自分が到底考えることのできなかった多くの視点でものごとを見る力がついたと思います。この学校は留学生も多いので経営に興味のある留学生とぜひ話してみたいと思いました。（経営学部会計情報学科１年）

初めて日本人以外の代表取締役社長のお話を講義で聞いて、やはり少しビジネスへの考え方、他国とのつながり方、文化等異なる部分があり、そのあたりがとても興味深かったので自分でも探究していきたいと思います。（経営学部国際経営学科1年）